

市制 110 周年・開館 30 周年記念企画展

国 島 征 二

令和 8 年 12 月 19 日（土）～ 令和 9 年 3 月 14 日（日）



① 《AC-7A 05-15》2005 年_個人蔵

みどころ

○国内外で活躍した美術家・国島征二初の大規模回顧展

○初期の絵画から、アルミニウム合金と自然石による積層体、日記のように身の回りのものを樹脂で固めた「Wrapped Memory」など国島作品の全貌を辿る作品 300 点以上を展示

国島征二は1937年に名古屋市で生まれ、70年代からアメリカを拠点に活動し、日本とアメリカを中心に世界各地で作品を発表した美術家です。1996年から額田町（現岡崎市）に居を構えて制作活動を行い、2022年に惜しまれながら亡くなりました。石彫によるパブリックアートは広く知られており、サンフランシスコ国際空港に設置された《Stacking Stone》(1983年)をはじめ、愛知県内では名古屋市の東山公園前に設置された《緑と風のフレーム》(1987年)など各地に多くの作品が残されています。

アメリカで活動した時代の代表的な作品が石彫であることから、彫刻家として認識されることが多い国島ですが、美術家として初期に取り組んだのは絵画でした。その後、アルミニウム合金やブロンズを用いた積層シリーズや石彫、また制作当初は発表していなかった国島の密やかなライフワークであるWrapped Memoryシリーズなどバリエーション豊かな作品を展開しました。アメリカからの帰国後は、それまで手掛けてきた全ての表現手法に立ち返り、美術家として亡くなるまで休みなく制作に向き合い、独自の造形理論を追求しました。

本展は国島のこれまでの作品、絵画や立体など300点以上を紹介するものです。国島征二の美術家としての70年間のあゆみを是非ご覧ください。

名 称：岡崎市制 110 周年・開館 30 周年記念企画展「国島征二」

会 期：令和 8 年 12 月 19 日（土）～ 令和 9 年 3 月 14 日（日）

主 催：岡崎市美術博物館、中日新聞社

開館時間：午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

休 館 日：月曜日、12 月 28 日（月）～1 月 4 日（月）、1 月 12 日（火）

※ただし、1 月 11 日（月・祝）は開館

観 覧 料：一般〔高校生以上〕 1,200 円（1,100 円）、小中学生 600 円（550 円）、
Limi-pass 1,800 円

※（）内は各種割引および 20 名以上の団体料金

※各種障がい者手帳の交付を受けている方及びその介助者 1 名は無料

※未就学児は無料

※岡崎市内在住・在学の小中学生は無料（証明書類をご提示いただく場合があります）

お問い合わせ先

岡崎市美術博物館 今泉

〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町峠 1 岡崎中央総合公園内

TEL:0564-28-5004 FAX:0564-28-5005 Mail:bihaku-kikaku@city.okazaki.lg.jp

【 展示構成 】 ※予告なく変更する場合があります。

【第1章】1958-1975 初期絵画から「積層体」へ

名古屋市港区に生まれた国島征二は武蔵野美術大学の油彩科を中退して名古屋に戻り、そこから本格的に作家活動をはじめます。初期に制作した絵画は、定まったかたちを持たない抽象から、有機的なかたちを持つ物質的なモチーフに変化します。その後実験的な作品に取り組む模索期を経て、徐々に立体へと展開し、1972年の「FUKURO シリーズ」からアルミニウム合金を素材に用いはじめ、「層」を構造とする「積層体」へと変化を遂げました。本章では国島の作品の変化を辿ります。



② 《作品 66-5》1966 年_キャンバス、油彩_43.0×34.0_個人蔵



③ 《FUKURO Black》1972 年_紙、ウレタン、塗料_127.0×59.0×124.0_当館蔵



④ 《SEALED TIME MY TIME - CUTOFF》1975 年_アルミニウム合金、時計部品_49.0×35.0×7.0_当館蔵

【第2章】1976-1995 アメリカ時代と石彫

国島は1968年と71年に単身ニューヨークを拠点に欧米や南米各地を周遊し、1975年に本格的に渡米、LAを拠点にギャラリーspaceで個展をはじめます。以降名古屋とLAを行き来しながら作品を発表します。国島は渡米からしばらくアルミニウム合金と自然石による「積層体」を追求しますが、その後アルミがブロンズに代わり、層の表現が多様化しながら、石の存在感が増してゆきます。そして1980年代半ばには石のみを素材にした石彫へと変貌を遂げます。本章では、作品と併せて国島が手掛けた石彫によるパブリックアートの仕事を紹介します。



⑤ 《Bronze Works 92-D》1972 年_ブロンズ、石_10.2×15.0×17.0_個人蔵



⑥ 《Suspended Pool'82-19》1982 年_石_16.5×44.0×14.5_当館蔵



⑦ 《Stacking Stone》1986 年_サンフランシスコ国際空港_*本作品は展示されません

【第3章】1996-2022 生活と芸術、美術家として生きる国島の実践

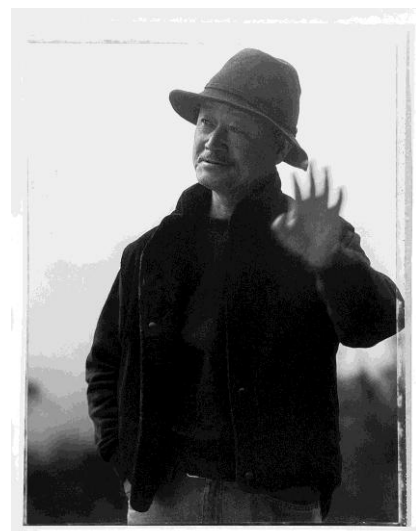
長年個展を開催してきた桜画廊（名古屋）が 1994 年に閉廊、1995 年にはアメリカ移住の起点となった L.A の space が閉廊し、国島の生活は再び大きく変化します。2 拠点生活のひとつであった L.A を引き払い、新たに額田郡（現岡崎市）の山林に居を構えました。それからの国島は自身が手掛けてきた全ての作品に立ち返り、絵画や石彫、積層体や Wrapped Memory の新たな可能性を追求しました。国島は病に伏すまで毎日手を動かし、亡くなるまで美術家として生きました。その生活から新たに多くの珠玉の作品が生まれました。



⑧ 《#8》制作年不詳_ブロンズ、石
_16.0×28.0×20.5_個人蔵



⑨ 《Suspended Pool》1991 年_紙、ミクストメディア_95.0×132.0_当館蔵



⑩中本佳材《国島征二 彫刻家》2002 年『中本佳材 4×5』株式会社リトルモア、2017 年より

【第4章】Wrapped Memory

Wrapped Memory は国島が 1970 年半ばに制作をはじめ、最初は発表する予定のなかったラーフワークです。国島のもとに友人知人から送られてくる展覧会の DM、気になった記事の新聞や雑誌、読んだ本、生活の中で使用した時計や鉛筆、メガネや刷毛など様々なものを重ね、樹脂で固め作品化する Wrapped Memory。本シリーズもまた一枚一枚の紙や物質が積み重ねられた積層という構造を持っています。本章では国島が残した膨大な同シリーズの初期から晩年までの一部を紹介します。



⑪《Wrapped Memory Bijutsutecho-Jan. March, June 1969》制作年不詳_ミクストメディア_21.0×15.0×14.0_当館蔵



⑫《Wrapped Memory-Gallery Announcement Oct. 1999》1999 年_ミクストメディア_29.0×22.0×8.0_当館蔵



⑬《Wrapped Memory-Gallery Announcement June-July 1999》1999 年_ミクストメディア_28.0×23.0×9.0_当館蔵

【展覧会関連イベント】 ※中止・変更になる可能性があります。

□ [トークイベント] 国島征二を語る 要事前申込

A. 糟谷護（庭園デザイナー） × 新田鷹雄（建築家）

令和9年2月13日（土）

B. 小島久弥（美術家） × 井上昇治（中日新聞編集委員、文筆家）

令和9年3月7日（日）

両日とも午後2時から3時30分まで

定 員 | 50名（1度の申込みにつき2名まで。応募多数の場合は抽選）

場 所 | 当館1階セミナールーム

参加費 | 無料（※ただし、当日の観覧チケットが必要です）

申込締切 | A. 1月12日（火）／B. 2月8日（月）

□ [ワークショップ] 樹脂粘土でつくろう積層彫刻 要事前申込

定 員 | 自然石をアルミニウム合金で閉じ込める国島の積層シリーズ。思い出の品や石などを樹脂粘土でサンドイッチして閉じ込め積層にするワークショップです。

日 時 | ①令和9年2月21日（日） ②令和9年2月23日（火・祝）

[1部] 午前10時15分から [2部] 午後2時から（制作時間は90分程度）

定 員 | 各10名（1度の申込みにつき2名まで。応募多数の場合は抽選）

場 所 | 当館1階ホワイエ

参加費 | 700円

申込締切 | 1月23日（土）

協 力 | L Gallery

□ [ギャラリートーク]

日 時 | 1月17日（日） 2月11日（木・祝） 3月13日（土） 午後2時～3時（予定）

場 所 | 当館1階展示室（開始時刻までに展示室入口前にお集まりください）

担 当 | 当館学芸員

参加費 | 無料（※ただし、当日の観覧チケットが必要です）

要事前申込イベントの申込方法 | 電子申請（ネット申込）は当館HPから

■お手数ですが情報確認のため、校正用原稿、掲載誌（紙）、DVD、CD等を下記宛てにお送りください。

6